

市民講座

住民投票を踏まえて考える

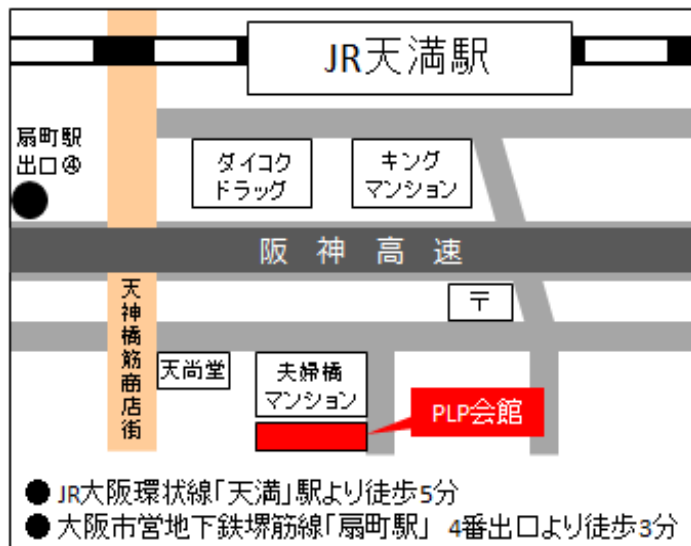
日本と大阪の政治課題

日時

8/6 (木)
18:30~20:30

場所

PLP会館
5階大会議室
(TEL 06-6242-2233)



5月17日に執行された住民投票は「反対」多数となり、大阪市の廃止は阻止されました。また、この結果を踏まえ、橋下市長は次期市長選挙には立候補せず、政界を引退すると表明しました。こうした中、大阪の政治は11月22日に執行される府知事、市長ダブル選挙を軸に、再び大きな山場を迎えようとしています。

一方、安倍政権は「安保関連法案」を「違憲」とする識者の見解や広がりを見せる国民の反対の声に耳を貸すことなく、強行成立を目論んでいます。また、この過程で日本維新の党のいわゆる「大阪派」は、安倍政権の補完勢力化を強めています。

こうした中央—大阪における政治情勢を踏まえ、労働組合や各政党の地方組織、あるいは多様な市民運動は、今後の日本と大阪の政治にどのようなスタンスで取り組んでいくべきか。現代政治、とりわけ政党政治に造詣の深い気鋭の研究者・中北浩爾さんをお招きし、ポピュリズムの台頭に直面しているとも言える日本と大阪の政治の針路について考えます。

講師

中北 浩爾 さん

(一橋大学大学院社会学研究科教授)

主催:自治労大阪府本部 / 共催:PLP会館 大阪地方自治研究センター